

第3節 白石構内(白石遺跡)の調査

1. 教育学部附属山口幼稚園・小学校給水管改修工事に伴う立会調査

調査地区 白石構内

調査面積 約10㎡

調査期間 平成17年8月2・18・25日

調査担当 横山成己・田畑直彦

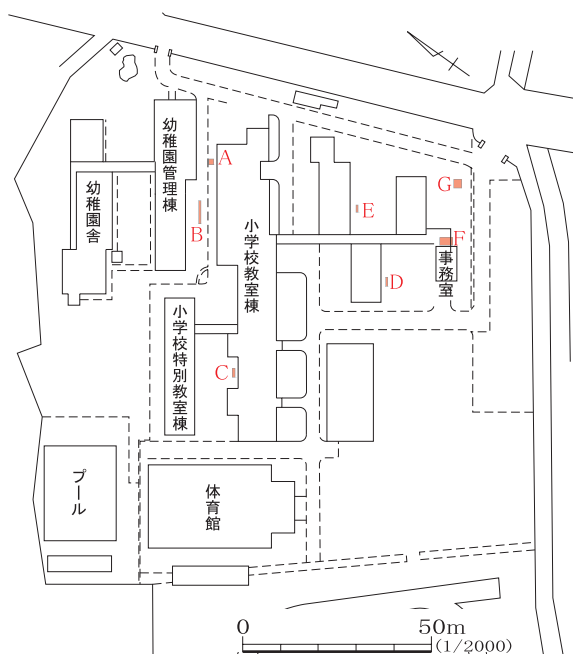


図 36 調査区位置図



写真 49 C地区土層断面(北西から)



写真 50 B地区土層断面(北西から)

調査結果 教育学部附属山口幼稚園・小学校敷地において、老朽化した給水管の改修工事が計画された。工事計画では、既設給水管の改修の他に、新たに給水管を布設する地点が存在した。そのため、新たに地下の掘削を実施する地点(A～G地区)について、立会調査を行った。

A・C・D・E地区は、掘削深度が0.35mであり、いずれも表土および造成土内に止まった。B地区では約0.8mの掘削が行われ、現地表下0.6mまでは表土及び造成土、下位に灰色砂質土層を確認した。遺物等は出土していないが、土質から河川堆積層である可能性を残す。F地区では現地表下約1.0mの掘削を行った。現地表下約0.8mまでが表土及び造成土であり、下位に地山(黄橙色粘質土)を確認したが、地山面に遺構は認められなかった。G地区はメーターボックス(量水器)の改修工事であり、既存ボックス周辺を約0.5m掘削したが、攪乱土内に止まった。

今回の工事では遺構、遺物等顕著な埋蔵文化財は確認されなかったが、F地区周辺では過去に埋蔵文化財が確認されており、また東に近接する地点では平成元年度の調査において弥生時代から古墳時代にかけての竪穴住居跡や土壌が確認されている。今後とも、当該地区周辺においては埋蔵文化財保護のため慎重な対応が必要である。

[註]

- 1) 田畑直彦(2006)「第1章第2節2 教育学部附属山口小学校事務室棟新営工事に伴う立会調査」, 山口大学埋蔵文化財資料館(編)『山口大学埋蔵文化財資料館年報—平成16年度—』, 山口
- 2) 河村吉行(1991)「第3章 亀山構内教育学部附属幼稚園・山口小学校汚水管布設に伴う発掘調査」, 山口大学埋蔵文化財資料館(編)『山口大学構内遺跡調査研究年報IX』, 山口